



複合文化施設の整備へ向けて

現在、市では市民ホールと図書館の機能を備えた複合文化施設の整備に向けて検討作業を行っています。

【複合文化施設整備事業の経緯は？】

令和2年3月の旧市民会館の閉館以降、新たな施設整備の検討を進めてきており、オンラインによるワークショップ（令和2年11～12月）、団体利用者アンケート（令和2年10～11月）などを実施しました。この結果をもとに取りまとめた施設整備の基本方針などについて、7月14日、15日に石岡・八郷両地区で市民説明会を開催し、合わせて57人の参加がありました。説明会資料や出された意見などについてはホームページをご覧ください▶



【「複合」って何ですか？】

複数の機能をひとつにまとめることを「複合化」といいます。今回の計画では、市民ホールや図書館など、複数の機能を備えた施設の整備を検討しています。



▲現在、複合化を検討している施設機能

【どのような施設を整備するの？】

人口減少や少子高齢化などの社会環境の変化や多様化する市民ニーズに対応するため、ホールや図書館に加え、会議室や子育て支援のための機能を加えることを検討しています。

市では、新たな施設が、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の市民の交流の場となるように計画していきます。



【今後の事業はどう進んでいくの？】

議会に設置された複合文化施設建設特別委員会の中で、建設予定地や民間活力を生かした整備手法、複合化する用途、施設規模などについて提案し、様々なご意見を頂いてきました。

今後、頂いた意見などをもとに課題を再度整理し、改めて、検討を行っていきます。



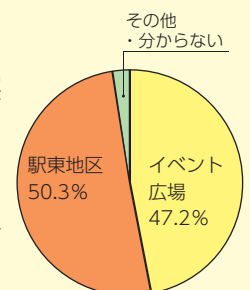
【市民アンケートの結果は？】

市では5月に無作為で抽出した市民3,000人を対象にアンケート調査を実施し、1,295人（43.2%）から回答をいただきました。

建設候補地については「イベント広場」が47.2%、「駅東地区」が50.3%という結果でした。年代別で見ると、10～40代は駅東地区、50代以上の各年代ではイベント広場が回答に占める割合が多い状況でした。

また、施設整備については、施設案内のわかりやすさや料金設定、さらに各機能の相互連携や設備の充実を重要視するという結果となっています。

なお、市民アンケートの結果について、詳しくは市ホームページをご覧ください▶



複合文化施設整備事業については、今後も進捗状況に応じ、市報や市ホームページなどを通じて市民の皆さまへお知らせしていきます。☎️駅周辺にぎわい創生課 TEL 23-7745